

## 環境振動設計指針策定 WG 2016 年度第 8 回 議事録 (案)

A. 日 時 2017 年 3 月 14 日 火曜日 17:30~19:30

B. 場 所 建築学会 305 会議室

C. 出席者 濱本主査 他 9 名

D. 提出資料

No. 9-0 環境振動設計指針策定 WG 2016 年度第 7 回議事録(案)

No. 9-1 本日の WG の検討課題メモ

No. 9-2 建築物の振動に関する居住性能評価指針(改定案)

E. 議事内容

1. 議事録(案)の確認 (資料 No. 9-0)

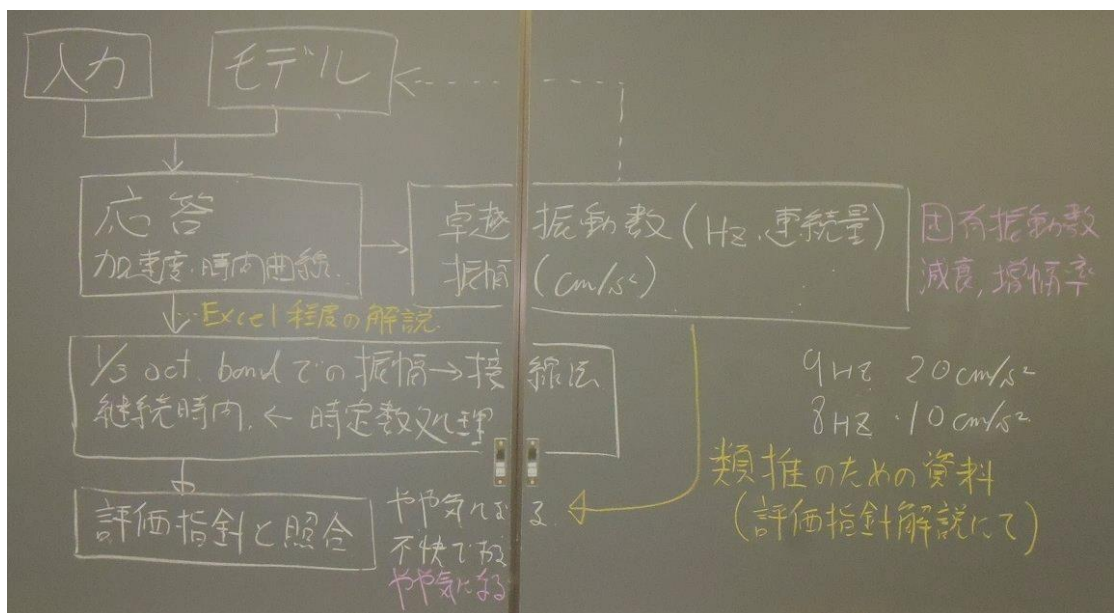
○議事録(案)は承認された。案をとって議事録とする。

2. 今後の本 WG の進め方について (濱本主査, 資料 No. 9-1)

○今後の作業対象は「性能マトリクス」から「評価曲線」に移行する。これまで通り 3 つの SWG に分かれて、目標性能設定以降の具体的な設計法について検討する。

- ・「評価曲線」と「時間効果の評価方法」は、居住性能評価指針改定小委員会に提示してもらう。耐震設計・耐風設計との連続性を保つために必要な情報も示してもらう。
- ・「応答評価法」の検討は、環境振動予測解析小委員会と連携を取りながら作業を進める。
- ・「振動計測」については、設計達成度を確認するための計測であることに十分留意し、環境振動測定分析小委員会と連携を取りながら作業を進める。

○設計フローについて討論し、大枠を図にまとめた。



3. 居住性能評価指針改定の進捗状況について (資料 No. 9-2)

○配布資料に沿って新評価指針(案)の変更点等が説明された。

- ・鉛直振動の気になり具合や不快度合の評価幅を、設計者の使い勝手を考慮して、性

能評価曲線 2 本ごとに変更した。

- ・非定常的な水平振動の評価は、鉛直振動の場合と同様の方法、つまり、継続時間 T に応じて HA 値（仮）を低減する方法（第 35 回環境振動シンポジウム資料 pp. 28～31 参照）とした。
- ・指針原稿は来年度末までに完成し、学会の査読を受ける。

#### 4. その他

○親委員会（環境振動設計ガイド策定小委員会）が本年度で終了するため、本 WG も本年度で終了する。ただし、本 WG の活動は、次年度に新設される同様の小委員会の傘下で、同じメンバーで継続する。

○環境振動測定分析に関する公開研究会について

- ・2017 年 7 月 13 日（木） 13:30～17:00 に開催される。
- ・「設計から見た振動測定の重要性（仮題）」を濱本主査が説明される。

○次回 WG 開催予定：2017 年 5 月 16 日（火） 17:30～19:30

以上